

平成 30 年度第 1 回 垂水区地域包括支援センター運営協議会（議事要旨）

1 日時 平成 30 年 7 月 31 日（火） 午後 1 時 30 分～ 午後 3 時 30 分

2 場所 垂水区役所 2 階健康教育室 7, 8

3 議 題

- (1) 平成 29 年度地域包括支援センターの運営状況について
- (2) 地域ケア会議について
- (3) 平成 30 年度地域包括支援センター事業計画書について
- (4) 地域包括支援センターの公正・中立性について
- (5) 地域包括支援センターの自己評価について
 - ・自己評価の目的について

【 以 下 非 公 開 】

- ・自己評価の実施結果について
- (6) 地域包括ケア充実のための事業目標について
 - (7) 特定事業所へのサービス集中率について

4 出席者 委員 12 名中 12 名出席 傍聴人 2 名

5 当日出された主な意見・質問および回答（要旨）

① Q. あんしんすこやかセンター自己評価が平成 30 年以降廃止されるのは、どうしてなのか？

⇒区：平成 20 年度より、自己評価を行って来たが、一方で、平成 28 年度から新たに客観評価を導入している。これについては、評価結果をセンター内で共有し、業務全体を振り返ることとしている。また、事業目標の策定と策定状況についても各センターが共同で P D C A サイクルで確認を行っている。今後は、この客観評価の地域包括支援センター運営評価項目に沿って、各センターが自ら事業目標の策定と実施状況を振り返ることとし、内容として重なる自己評価については、終了することを神戸市全体の運営協議会のなかで提案があり承認された。

⇒区：簡単に言えば、自己評価から客観評価へ変わっていくということです。

② Q. あんしんすこやかセンターは、住んでいる地域のセンターしか利用できないのか？

⇒区：各センターで圏域が決まっている。

⇒区：交通の便等の理由で、ご自身の圏域以外のセンターへ相談をしたいということはあるかと思う。一般的な相談であれば、どこのセンターでも受けることはできる。しかし、要支援等の認定を受け今後、介護サービスを使っていきたいというような継続的な支援が必要となる内容となれば、該当圏域のセンターへご案内をすることになる。

Q. 住民の方は、そんなことは知らないの、とりあえず区役所に相談に来るのか？

⇒区：介護認定の相談等で、区役所に来られる方もいます。ただ、事業目標の中にあつたように、各あんしんすこやかセンターも啓発に力を入れており、地域の色々な行事に参加をし、あんしんすこやかセンターの認知度を高めることができるよう努めてい

ます。

- ③ Q. 患者さんから、親に認知症の症状がでてきており、施設入所を考えていると相談を受けることがある。まず、どうしたらいいのか施設入所の手順を簡単に教えて欲しい。
⇒私は、クリニックをやっている。そういった相談を受けた場合は、患者さんの住所を聞き、神戸市のホームページでどこのあんしんすこやかセンターの管轄か調べて、そのセンターの電話番号を家族に教えて、介護保険認定を受けたいと伝え、かかりつけ医、何をしたいのかを伝えれば、向こうはプロなので、全部やってくれる。ただ、一番困るのは、区役所に来られた方は、直ぐに動いてもらえないという印象がある。

⇒区：そういった状況はあるかも知れない。あんしんすこやかセンターの職員は、高齢者の相談については、役所の職員よりも上手に聞き取っている所もある。あんしんすこやかセンターでは、高齢者の困り事を専門職として聞き取り、サービスに繋げていく対応をしています。もし、先生方にご協力を頂けるなら、介護の悩み等の相談については、圏域のセンターを案内して頂けると助かります。

Q. あんしんすこやかセンターは、各施設の空き状況などを把握しているのか？

また、どこか良い施設はないかななどの質問に対応できるのか？

⇒区：施設の空き状況は流動的なものなので、随時は把握できていない。介護保険で提供できる施設については、一覧表があるので所在等についてはご紹介できる。ご本人様やご家族の意向や状態に合わせた対応をしていきます。

- ④ Q. 施設も外部評価を受けていると思うが、その資料はどこにあるのか？

⇒区：施設の外部評価について、どんな形で公開されているかここでは分かりません。施設の申し込みは、もちろん、ご本人様、ご家族様でもできるが、ケアマネを通じて何箇所も申し込みはできる。施設の空き状況についても、ケアマネはある程度、情報はもっている。施設も空いているから、すぐに入所という訳ではなく、入所の判定委員会で、入所の必要な人から順番を決めていく仕組みを、神戸市含め全国的にとっている。申し込んで、すぐに入所できる場合もあれば、2年位待つ場合もあるということは聞いている。

⇒実質、要介護4以上でないと入れない。通常、皆さん複数申し込みされている。

⇒個人としては、どこのあんしんすこやかセンターが良いかより、どこの施設が良いのかを知りたい。

⇒施設の評価については、インターネットで調べて貰ったら公的なものではなくとも、評価は公開されている。特養については、要介護3以上という制約があり、いかにご本人様、ご家族様の思いを聞き取り、それにあった施設を見つけていけるかはケアマネの腕にかかっている。

- ⑤ 平成29年度の垂水全体の重点課題は、「高齢者のごみ出し支援」とされていたが、平成30年度には、それができていないが、それは制度として確立され、ある程度、解決されたからと解釈して良いのか？

⇒区：既存の制度では、解決できない問題なので、平成29年度は地域ケア会議で色々な方からご意見を頂いた。区地域ケア会議のみで、高齢者のごみ出し支援の問題は、難しい問題なので、引き続き、あんしんすこやかセンターが行う圏域ごとの地域ケア会議で話し合いを続けていきたい。圏域での会議は、協議体機能も併せ持つため、時間をかけ

て資源開発について考えていきたい。

なお、今年度、社会福祉協議会で行っている区レベルでの協議体で、高齢者のごみ出し支援のあり方を検討している。

⇒難しい問題だということは分かるが、高齢者のごみ出し支援について、引き続き取り組むべき課題であるにも関わらず、認知症サポーター研修と同様、平成30年度の事業目標の中に数値的な目標が示されておらず、昨年と比べて抽象的になったと感じる。

⇒社協：昨年度の地域ケア会議で、2回ほど高齢者のごみ出し支援について検討をした。一部のあんしんすこやかセンターでは、計画のなかに、引き続き、高齢者のごみ出し支援について、具体的な方法を検討するとしている。現状では、昨年度の論議を受けて区レベルでどうすれば、より良い支援をできるか検討をしている最中である。今年度の目標としては、マニュアルや事例集を作成し、あんしんすこやかセンターへ提供して、地域での支援を拡げていきたいと考えている。

⇒現実的に、神戸市が朝5時から朝8時までしか、ごみ出しができないなどハードルがある。どこかの地域で支援が、上手くいったケースはあるのか？

⇒社協：最大のネックが、その朝5時から朝8時までに出さなければならない点である。正直な所、全市的にあまり上手い支援のあり方は確立されていない。一部の地域で、有料ボランティアの方がお手伝いをして頂いている所もあるが、あまり拡がっていない。

- ⑥ 私は、垂水区の病院で勤務しているが、入院中の認知症の方が抜け出したりした場合にも、地域の方から「ここで見かけた」等の連絡を頂けて大変、助かっている。日頃、地域の方が支援をして下さっている実績はお伝えしたい。

以上